

<英米語学科>

英米語学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- ・英語圏の言語・歴史・文化・社会に関心をもち、問題意識をもって主体的に情報を集め、情報を分析、評価する力
- ・資料や文献を批判的に読み解き、筋道を立てて粘り強く考える力

【コミュニケーション能力】

授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって、問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 様々な分野に貢献できる高度な英語運用能力の修得に強い意欲をもち、自主的に学修できる人
- (2) 日英語を駆使して情報を収集し関心のある分野の理解を深めることのできる人。また、様々な問題を多角的に考察し、自分の意見を論理的に表現することのできる人
- (3) 英語圏の言語・歴史・文化・社会に関する深い教養に基づき、様々な場面において、国際社会の一員として多様性と調和を尊重する社会の実現に主体的に関わろうとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

<アジア言語学科>

アジア言語学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」【知識・技能】

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- ・専攻言語圏の諸問題に関心を持ち、それらについて自ら考え学修し表現する力
- ・日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】

授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 国内外の様々な分野に貢献できる高度な専攻言語の運用能力の修得に強い意欲を持ち、主体的、自立的に学修できる人
- (2) 実践的な英語運用能力の修得に強い意欲を持ち、主体的、自立的に学修できる人
- (3) 専攻言語及び同言語圏の言語・歴史・文化・政治・経済・社会に関する幅広い教養に基づき、人々の多様性を尊重し、多文化共生の観点から国際社会の発展に主体的に関わろうとする人
- (4) 興味関心のある分野において、専攻言語や英語、日本語を駆使して複眼的な理解、情報収集、客観的分析、論理的表現を行い問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

<イペロアメリカ言語学科>

イペロアメリカ言語学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- ・専攻言語圏の諸問題に関心を持ち、それらについて自ら考え学修し表現する力
- ・日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】

授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 国内外の様々な分野に貢献できる高度な専攻言語の運用能力の修得に強い意欲を持ち、主体的、自立的に学修できる人
- (2) 実践的な英語運用能力の修得に強い意欲を持ち、主体的、自立的に学修できる人
- (3) 専攻語及び同言語圏の言語・歴史・文化・社会に関する深い教養に基づき、国際社会の一員として多様性と調和を尊重する社会の実現に主体的に関わろうとする人
- (4) 興味関心のある分野において、専攻言語や英語、日本語を駆使して複眼的な理解、情報収集、客観的分析、論理的表現を行い問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。

<国際コミュニケーション学科>

国際コミュニケーション学科では、次に掲げる能力や姿勢を有する学生を広く求める。

1. 入学前に修得が期待される能力

高等学校等において修得が見込まれる、以下に掲げる基本的な「知識・技能」・「思考力」・「コミュニケーション能力」

【知識・技能】

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力
- ・本学科での学修に必要な一定程度の英語能力
- ・本学科での学修に必要な日本語の基礎的読解力と論理的表現力
- ・世界の国・地域に関する基礎的な知識

【思考力】

- ・国際社会の諸問題に関心を持ち、それらについて自ら考え学修し表現する力
- ・日本語の社説や論評などの内容を理解し、それに対する自らの考えを論理的に表現する力

【コミュニケーション能力】

授業内外の活動において、他者との意見交換に積極的に参加し、協力しあって問題解決を図ろうとする姿勢

2. 入学後の学びに対する姿勢

- (1) 高度な英語運用能力の修得に強い意欲を持ち、積極的に協働学習に取り組もうとする人
- (2) コミュニケーションや国際関係、国際ビジネスに関する深い教養に基づき、文化的背景の異なる人々と意思疎通を図り、国際社会の発展に主体的に関わろうとする人
- (3) 興味関心のある分野において、国際コミュニケーションの観点から分析し、考察を論理的に発信することで、問題解決に貢献しようとする人

3. 評価の方法

本学科では多様な学生を選抜するために、複数の特色ある選抜方法を設ける。各選抜では、プレゼンテーションや質疑応答・面接、口頭試問、小論文、時事問題、学力試験、書類審査などによって、受験者の論理的思考力や判断力、表現力、コミュニケーション能力、基礎的な知識・学力、また国際的な視野や専攻分野の学びに対する姿勢などを評価する。